6．1S-Uエンジン

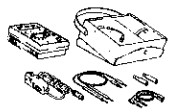
1 エンジン　エレクトリカル

変更概要

SXグレードの寒冷地仕様にゼネレータ　レギュレータをIC化したものが採用されました。

2-1 オールタネータ

〔準備品〕

計　器	 09082-00011 トヨタ　エレクトリカル　テスタ	各部測定用
	エンジン　チユーナツプ　テスタ（回転計）	オールタネータ点検用

要　点

1　オールタネータ点検

バツテリ比重，電圧測定

基準値　比重　1.25～1.27（20°C）
電圧　12V以上

基準値外

充電

注意

クイツク　チヤージを用いてバツテリを急速充電する場合は，バツテリ端子をはずしてから行なう。

無負荷試験
（調整電圧，調整電流測定）

(1)電流の測定はDC200A　プローブをオールタネータB端子ワイヤ　ハーネスに接続する。

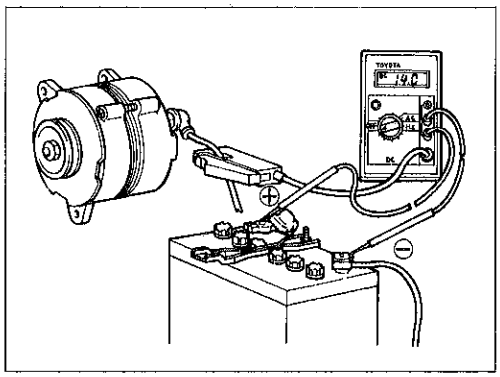


図6-1-1　調整電流測定　Z6382

無断複製禁止

(2)エンジン回転数を2000rpmにセットして測定する。

基準値　調整電圧 13.8～14.4V (25°C)
調整電流　10A以下

注意

1．エンジン始動直後は一時的に電流は10A以上になるが異常ではない。
2．バッテリの逆接続，各端子の誤接続は絶対にしない。
3．運転中，絶対にバッテリへの配線を切り離さない。

負荷試験

(1)ヘッド　ランプをハイ　ビーム，ヒータ　ブロワ　スイッチをハイ　スピード　モードにし，エンジン回転数を2000rpmにて測定する。

基準値　30A以上 (13.8～14.4V)

注意

30A以下を指示しても，バッテリが完全充電の場合は異常ではない。

6

2　ゼネレータ　レギュレータ点検

(1)ボルテージ　リレー抵抗測定

①レギュレータのコネクタをはずし各端子間の抵抗を測定する。

基準値

測定端子	抵抗値(Ω)
L↔E	約0
N↔E	約23
B↔E	∞

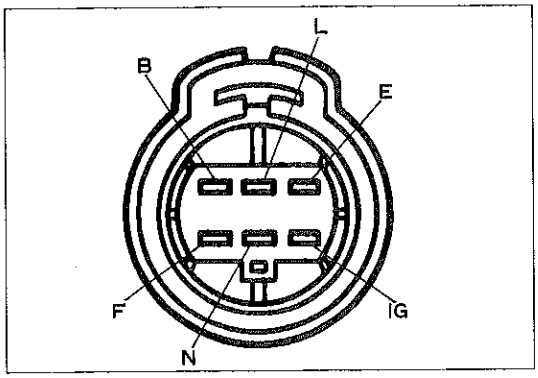


図6-1-2　コネクタ端子位置　B6327

(2)ボルテージ　リレー作動点検

①端子N↔E間にバッテリ電圧をかけたときリレーの作動音がすることを確認する。

②①の状態で端子B↔L間の抵抗を測定する。

基準　約0Ω

注意

作動点検は短時間で行なう。

無断複製禁止

2 エンジン調整

変更概要

V ベルトの点検要領が変更になりました。点検要領はＳ１の２を参照してください。

1 V ベルトたわみ量点検

基準値（押力10kg）

ベルト種類	新品取り付け時(mm)	点検時(mm)
オールタネータ用	12～14	13～20
P/S ポンプ用	7 ～ 8	8 ～12
クーラ コンプレッサ用	6.5～7.5	8 ～ 9

参考

ND テンシヨン ゲージを使用した場合の張力基準値

ベルト種類	新品取り付け時(kg)	点検時(kg)
オールタネータ用	45～55	20～35
P/S ポンプ用	45～55	20～35
クーラ コンプレッサ用	55～65	35～45

※ベルトの張力はどのプーリ間で測定してもよい。

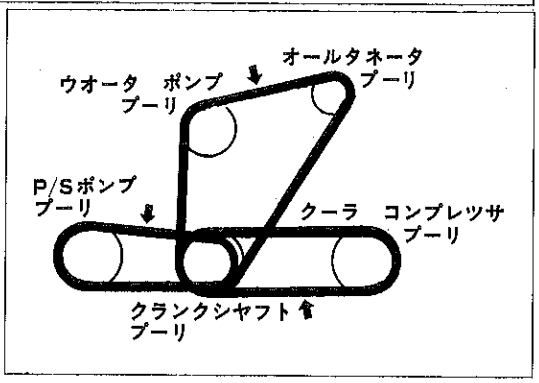


図6-2-1 V ベルト点検 B9735

無断複製禁止